



発行者 福山市自治会連合会
会長 大原 博
TEL 084 (923) 9633

・80学区(地区・町)・自治会(町内会)数 1,012

・加入世帯数 120,646 【2024年8月現在】

HPはこちらから

検索

福山市自治会連合会



2024年度(令和6年度)福山市自治会連合会総会

5月23日(木)、福山市役所本庁舎大会議室において、福山市自治会連合会総会を開催いたしました。

市内80学区(地区・町)より各2名の出席を頂きました。

来賓あいさつの後、議案を丁寧に説明審議し、全ての項目が可決されました。



福山市自治会連合会 会長 大原 博

総会 会長挨拶から(要旨)

本日は大変お忙しい中お集りいただきまして、誠にありがとうございます。本日の総会には公務ご多忙の中、枝広市長をはじめ、岡崎市議会副議長、福山市社会福祉協議会藤井会長にご臨席を頂いておりますことに厚く御礼申し上げます。

私は昨年の総会で会長に選出され、この1年間自治会の運営に長として携わってまいりましたが、この間皆様には格別のご支援・ご協力を賜り、おかげをもちまして、会長としての職責を果たしてきたのではないかと深く感謝いたしております。この場をお借りして、感謝申し上げます。

この1年間を振り返ってみますと、ウクライナ情勢からの原油価格高騰による混乱、また元旦には石川県能登半島での大地震がありました。特にこの大地震では、避難所での互いに励まし合いながら困難を乗り越える姿は、日頃の地域活動や住民間のつながりが、災害時の生命線となることを改めて示したのではないのでしょうか。私たち自治会(町内会)の加入率の低下は、全国的な問題にもなっております。自治会(町内会)は、ともすれば気薄になりがちな地域のコミュニティづくりや、防災・災害時の助け合い、行政機関への要望のとりまとめ等多くの役割を担っております。高齢化社会における住民の皆様の生活スタイルが多様化する中で、どのように持続可能なものにしていくかが最大の課題となっております。

更に、役員の方の負担を軽減するため、多方面から協力を依頼している業務について、見直す必要があると考えております。その一例として、福山市行政と協力し、行政からの回覧文書を使用した伝達を減らしています。そして、積極的に情報のデジタル化を推進して参ります。

最後になりましたが、本日提案しております各議案の審議がスムーズに運びますよう祈念いたしまして、ごあいさついたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。



2024年度(令和6年度)

役員

会長	大原 博 (旭)
副会長	佐藤 泰伸 (手城)
//	平田 彰 (川口東)
//	藤井 俊昭 (蔵王)
//	伊藤 武彦 (東村)
//	山岡 英樹 (泉)
//	中崎 伸二 (田島西部)
副会長兼事務局長	河上 正次 (新市)
副会長兼会計	高野 孝行 (御野)
常任理事	末次 了 (多治米)
//	池田 和司 (長浜)
//	小出 純二 (坪生)
//	森 武 (今津)
//	山崎 俊章 (津之郷)
//	大島 功之 (赤坂)
//	梶原 祐爾 (常石)
//	出原 敬三 (駅家)
//	久保 辰己 (加茂)
//	安倍 義弘 (中条)
監事	小川 元信 (東村)
//	兼田 邦洋 (田島東部)
顧問	佐藤 賢一 (東)

新理事(連合会長)

岸本 彰五 (深津)
三宅 住二 (西深津)
神原 修三 (新涯)
須渕 静 (幕山)
小林 英也 (神村)
岡森 正人 (本郷)
渡辺 和昭 (金江)
佐藤 恵敬 (藤江)
志田原友逸 (熊野)
岡本 浩男 (鞆)
寺岡千佳雄 (能登原)
小田 朋志 (有磨)

2023年度(令和5年度)

事業報告(抜粋)

- 5月 総会
- 7月 第1回市政懇談会(3会場)
- 7月 ごみ袋あっせん
- 8.9.10月 自治会(町内会)加入促進月間
- 9月 会報94号発行
- 9月 組織強化推進部会研修会
- 10月 全国自治会連合会札幌大会
- 10月 南あわじ市視察研修
- 12月 常任理事会と社会福祉協議会との研修会
- 1月 第2回市政懇談会
- 1月 理事会
- 2月 中四国ブロック会研修会広島県福山大会
- 2月 運営研究大会
- 3月 会報95号発行

<広告>

神辺町川南、芦田川と高屋川が合流する地点の東側に位置する片山地域。ここで私たちは地域の一員として、「ふれあい農園片山」の運営に参画しています。

地元農家さんも加わり3世代が一緒に、農業体験を通じて地域とふれあい、子ども達にも作物を育てる楽しさを味わってもらおう事を



資源をつなぐ、地域をはぐくむ

かこ川新聞

令和6年上半期号 かこ川商店 神辺町川南636-11

小さな幸せがこの地域で循環していきますように



農園スタッフ募集中

私たちと一緒に作物を育ててみませんか? ふれあい農園片山では、一緒に育てるボランティアスタッフを募集しています。

「食べるものは自分で育てたい」「自分の子どもにも土に触れる経験をさせたい」「商品開発までしてみたい」など、参加者からの声をいただいています。

インスタグラムでは活動の様子がご覧いただけます。興味のある方は、DMにてご連絡ください。

目的として活動しています。

自分たちが住む場所で育った作物を食べ、美味しいと感じること、この地域に育って幸せだな』と思ってもらえたら、小さな幸せが循環する地域になり、身の周りの農地の新たな価値を見出すきっかけにもなると考えています。

- ・2023年度(令和5年度)決算
- ・2024年度(令和6年度)予算

2024年度(令和6年度)事業計画

(収入の部)

(単位:円)

費目	2023(令和5)年度 決算額	2024(令和6)年度 予算額	説明
前年度繰越金	622,733	679,160	前年度から
市補助金	8,000,000	8,000,000	自治会運営費補助等
会費	2,684,940	2,686,000	学区会費(80学区(地区・町))
負担金	759,000	697,500	視察研修負担金他
雑収入	418,419	147,340	預金利息,自治連会報広告掲載料他
繰入金	0	0	
預り金	758,777	0	事務局員雇用保険料,社会保険料等預り分
合計	13,243,869	12,210,000	

(支出の部)

費目	2023(令和5)年度 決算額	2024(令和6)年度 予算額	説明
大会費	809,561	800,000	(中四国ブロック会広島県福山大会) 運営研究大会開催経費
研修費	953,075	1,180,000	視察研修費
会議費	1,629,832	1,250,000	総会,市政懇談会他
役務費	426,920	430,000	郵送料,電話代他
広報費	1,261,535	1,290,000	会報印刷配布代他
需用費	816,398	870,000	フックリ管理料,事務用品他
使用料及び賃借料	7,591	8,000	印刷機使用料
負担金及び補助金	60,000	60,000	広島県自治会連合会会費他
委員会費	0	0	市政研究委員会開催経費
見舞金慶弔費	119,300	120,000	香料,弔電,見舞金他
交通費	446,826	540,000	会議交通費
繰出金	885,354	1,099,000	広島県自治会連合会へ (年間事業費・中四国ブロック会研修会) 創立記念事業特別会計へ
事務局費	3,811,236	3,845,650	事務局員報酬
法定福利費	649,281	620,000	事務局員雇用保険料,社会保険料 (団体負担分)
予備費	0	97,350	
預り金	687,800	0	事務局員雇用保険料,社会保険料等
繰越金	679,160	0	
合計	13,243,869	12,210,000	

- ・地域性豊かなまちづくりの推進
- ・自治会(町内会)組織の充実
- ・安心・安全のまちづくりの推進
- ・研修活動の推進
- ・広報活動の推進
- ・福山市議会との連携強化
- ・社会福祉協議会との連携強化
- ・環境整備対策の推進
- ・納税推進事業へ協力

広報委員

- 部会長 藤井俊昭(蔵王)
 副部会長 安倍義弘(中条)
 副部会長 出原敬三(駅家)
 幹事 大島功之(赤坂)
 委員 森武(今津)
 // 藤井政明(桜丘)
 // 花谷忠厚(光)
 // 天満晴夫(伊勢丘)
 // 中尾憲二(横島)

(広告)

ワンタッチテントの販売・レンタル・出張修理はおまかせください

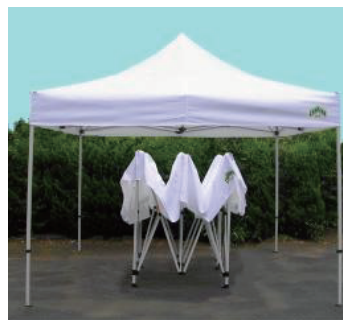
運動会

お祭り

イベント

簡単設置! 簡単撤収!
大人2~3人でOK!

フレーム1年間保証。アフターサービスも充実。



TEL: 084-982-7261

FAX: 084-982-7262

メール:

one_touch_tent@yahoo.co.jp

福山市箕島町南丘6534-1

ワンタッチテント福山

お気軽にお問い合わせください。



本郷学区自治会連合会
会長 岡森 正人

「本郷学区の紹介」

わがまち本郷町は、山陽本線松永駅の北側、車で10分程のところにある町です。すぐ近くに山陽自動車道 福山西ICがあり、大阪・九州方面や山陰・四国方面にも高速道路で繋がっています。その昔は銅山や石炭で栄えていました。府中・神辺・福山・尾道に通じる要となる町として発展してきました。昭和の頃には、日本鋼管福山製鉄所(現JFE西日本)の福山立地により、本郷温泉が最盛期を迎えることとなりました。又、富有柿の名産地としても有名になりました。学区としては色々な取組を行っていますが、忘れ去られてしまいそうな、ちっちゃな歴史まで調査して冊子にまとめています。小学校・PTAと共催で、6月には蛍観賞会を行い、子どもチャレンジとして町内歴史探索などを毎年実施しています。大場山は古志清左衛門の居城で「城山(じょう



城山(じょうやま)の桜

やま)」と呼ばれて親しまれております。町内の任意の団体が、2002年(平成14年)に桜の苗木を植えて、現在では万朶(ばんだ)の桜が咲き誇っています。それを学区として引き継ぎ、登山道などの整備を進めています。頂上からは広く松永湾(遺芳湾)や瀬戸内の島々・四国の山々まで眺望することができます。

御野学区町内会連合会
会長 高野 孝行

「御野学区の紹介」

御野学区は、岡山県井原市と隣接した福山市北東部に位置しています。学区内を井原市より流れる高屋川をはさみ北側に御領地区、南側に平野地区があり、御野学区となっています。

岡山県との県境に「お月さん」という大きな岩(陰陽石)があり、その割れ目が県境であり、冬至の早朝その割れ目に朝日が昇るスポットが存在しています。近年まで両地域の方々が冬至の日に祭祀を行い、そばを打ち、カボチャ汁を作り交流をされていたように聞いています。又、平野地区においては古墳時代後期の前方後円墳が存在し、話を聞いた人達が訪ねてこられます。御野学区には、山間部に「御領古墳群」、平地に「御領遺跡」(縄文・弥生時代の遺跡が多数出土している)があり、地域の宝として大切に守られています。

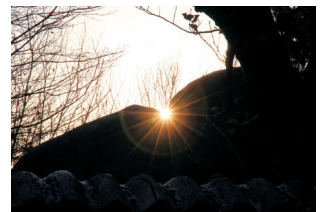
又、下御領地区においては備後国分寺(741～752年の間に建立)があり、古くから国の統治下に

あったところでした。江戸時代に大雨による堂々川の氾濫により土砂災害(1673年)が起こり、63名の尊い命を失いました。この時国分寺は流されてしまいましたが、その時造られた堂々川砂留群(1725～1887年工事完成)により、現在も住民はその恩恵を受けているところであります。

そうした中で御野学区では、住民一人ひとりが、我が家がどのような場所に建ち、どのような災害に弱いかを常に考え暮らすことの大切さを再認識し、災害に強いまちづくりをめざしています。



月天菩薩の刻字あり(表)



お月さんの割れ目から昇る冬至の朝日

※次回の掲載は、深津学区と赤坂学区です。